

Wonderful Adelaide

今回は渡航先が日本と対照的な魅力のあるオーストラリアということもあってか早い時点で多くの参加希望者が集まり、FF 広島過去の交換で最も多い19名で渡航することができました。アデレードクラブは会員数90名を超え、Hosting Capacityも30人という先進クラブであり、今後の交換（受入）の企画、運営に於いて学ぶ点が多く大変参考になりました。全日天候にも恵まれ素晴らしい思い出と共に全員無事に帰国できました。皆様のご協力とアデレードクラブのホスピタリティーに心から感謝致します。概略の交換行程は下記の通りです。（ED 猪原俊郎）

3月8日夕刻関空出発
3月9日午後ケアンズ経由アデレード到着
3月13日迄ホームステイ交換
3月14～16日オプショナルツアー
3月17日帰国



ホストのボビー マルホランドはクラブ現役会長、夫のロビンはニュースレターの編集長であり、共にFFオーストラリアの公職を経験した生粋のFFファミリーでFF活動とオーストラリアの自由を心から楽しむご夫妻でした。文化と芸術の都と呼ばれるアデレードの街づくりとそこに住む人々の生き様は、シドニーやメルボルンとは一味違います。自由植民地として成立した唯一の州であることの影響を感じました。渡航のたびに新しい友人が増え、旧い友人と再会ができるFFの素晴らしさを楽しみました。（森川高明・宏子）

ホストのTrishは、FF入会2年目の女性で一人暮らしでした。キャリアウーマンで毎日忙しそうで、私は彼女が出かけた後一人でシンプルな朝食を頂きました。預かった鍵で戸締りをし、近所のホストが迎えに来てくださるのを待っていました。日常生活のリズムは崩さずそのまま、他のメンバーの全面的な協力でアンバサダーを受け入れているという状態です。これは、メンバーの数が多くよくオーガナイズされているからこそ出来ることですが、この受け入れ方法は、ホストの負担が少なく合理的面、アンバサダーにとっては少し不安な面もあり、考えさせられるアデレード交換でした。（山本鈴



アデレードの皆様への心こもったおもてなし、気配りに、会員のチームワーク、一体感を感じ見習うことも多かったです。ホストファミリーのパッドさんは、キルト作品に囲まれ、清潔で心地よいお部屋を提供していただき、手仕事の好きな私にとって、心休まる空間でした。特に印象に残ったのは、ウルルの小旅行でした。気温40度の世界で、私の体力が持つか心配でしたが、ネットをかぶり散策しながら、過酷な環境の中で、アボリジニの人々が生活し、動植物が生きながらえている姿に地球の多様性を感じ感動しました。夜は360度星でいっぱいです。天の川がゆったり流れ、その下に菱形に輝く南十字星がはっきり見えます。航海するときの目印になったという、昔の人々の話を思いだしました。旅の余韻に浸りながら、今回の経験をもとに新たな一歩をふみだしたいと思います。

(阿部真由美)



私は今回が3度目の渡航でした。毎回、FFのオープンで親切この上ない受け入れには感動します。アデレードでは、ホストの方々が自分自身のための活動（ボランティア活動等）をきちんとこなしながら、家族のためもしっかり時間を割いておられ、家族の絆がとても強いと特に感じました。

ワイナリー、コアラを抱ける動物園、植物園、お子さんの家、他のメンバーさんの家、オパールの店、アデレードを一望できる高台、美しい海岸等連れて行って頂きました。アデレードの素晴らしさを知ってほしいという思いが伝わってきました。(松本浩子)

アデレードクラブの皆様への配慮の行き届いたおもてなしに大変感謝と感激をおぼえます。一人暮らしのホストファミリーとも事前のメールのやり取りで旧知のような気がしており阿部さんとの女3人暮らしはなんとも気楽でユーモラスなものでほのぼのとした思い出はいつまでも忘れないことでしょう。

あまり期待をしていなかったウルルでしたがその精神性に溢れた全てに対して言葉がないほど感動しております。パーフェクトな旅に参加できましたこと大変うれしく思っております。

(竹迫桂子)





そこかしこに緑の広場が広がり、のびのびと枝を広げるユーカリの大樹。風もユーカリの香り、さすがオーストラリア。ついこの間まで、花がいっぱいだったというジャカラндаの並木を通り抜け、その先にホスト、ジューンとジェリーのお宅がありました。拙い英語しかできない私たちに、辛抱強くかかわってくださり、温かく親切にもてなしてくださいました。Bush fireの焼け跡が延々と続く山々に黒く焼けた痛々しい姿の木々に緑の下草が萌え始めている。死と再生が繰り返られる自然の雄大な営み。オーストラリア大陸のスケールの大きさや自然の威力のすさまじさを感じました。続いて、ウルル・カタジュタ国立公園へ足を伸ばし、天の川、南十字星など満天の星をみられたことも、珠玉の思い出となりました。（谷口昌史・悦子）

昨年の北イリノイに続き2回目の渡航でした。初めは期待と不安で複雑な思いでしたが、今回のアデレード渡航も感動の旅でした。アデレードの文化や自然、歴史にふれる日常を体験することができました。そして、出会った人達の親切にふれ、感動しました。オプショナルツアーではウルル、カタジュタで温度39℃、湿度7%を体験したり夜空に輝く南半球の満天の星に感動しました。ご一緒した皆様大変お世話になりました。そしてアデレードで出会った人達、気持ちよく「行ってらっしゃい」と出してくれた私の回りの人達すべてに感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。（小角典子）



FFでの交換に、今回初めて参加しました。ホストは70歳の女性でした。ホスト宅でも、彼女は私を特別にお客様扱いするのではなく、ごく普通に接して、私も特に気を使うでもなく、まるで我が家で生活しているような感じでした。オーストラリアなまりの英語が良く理解できず、言葉数は少なかったかも知れないけれど、気持ちは十分通じていたと思います。ウエルカムパーティやフェアウエルパーティでみんなの前で歌を歌ったのが、とても楽しく印象に残っています。

（安田艶子）

初めて出会うホストファミリーや環境・習慣の違いについて心配はしていましたが Maryanne & Robert ご夫妻はフレンドリーな方でしたので5泊6日を楽しく過ごせました。同じ屋根の下や外出の車の中で双方の生活環境や風土、産業などを毎日会話が出来たり、Maryanneさんの得意な料理を教えてもらったりとお互い良い交流ができました。また、受け入れ側のホストの皆さんの温かいおもてなしと、親身な見学のガイドのお陰でアデレード市街を含む周辺の南オーストラリア州の動植物と、ブドウ畑や放牧地が大変思い出深い場所として心に残っています。

オプションツアーで、訪れたウルルの日の出と日没の威容は想像を超えるものでした。自然が作り出したこの過酷な環境の中に太古から原住民が生活を営んできていることにも感動しました。(松浦忠昭)



初めてのオーストラリアの交換は楽しかったです。昨年のアメリカでの経験とくらべると、オーストラリアの人は少しおとなしく、のんびりしている感じでした。それと言葉はアクセントが重いので、わかりにくいところは多くありますが、でも “not a big deal” 何とかなりました。皆様にいろいろとお世話になりました。本当にありがとうございました。

(島崎高志・京子)

国の違う国民同士が一般家庭にホームステイしてその家庭の一員として生活を共にし、相互理解を深めることにより、グッドウィルミッションをはかることを目的とするこの事業に参加してその素晴らしさに感動しました。

特に：

- 1 言葉の文化の大切さを実感
- 2 日本人として誇りを感じた
- 3 生活レベルの大変高いことの実感と子弟教育の熱心さを感じた
- 4 アデレードの FF 会員の誠実で奉仕観念に徹した態度に感動
- 5 アデレードは観光の穴場的存在で最高の訪問先を選考されたことに感謝

(井上太三郎)



生まれて初めての経験です。コアラを抱き白いカンガルーに会うなんて！！（森川悦子）



アデレード空港へ到着ホストご夫婦のハグの出迎えを受け、暖かく親切な出迎えに熱いものがこみ上げてきました。私のホストの家は山の中で淡い緑色の木々に囲まれ、珍しいカラフルの鳥が沢山いる素晴らしい環境の中にありました。英会話の出来ない私ですが、ホストさんとの距離は感じませんでした。全てが新しい発見で一週間が竜宮城のようにアツとの間に終わったような気持ちです。ファイナルパーティーで私のアトラクションがまったくの失敗に終わり詐欺師の汚名を受けました。このことについては今後北半球の日本で訓練を重ねてこれを返上していきたいと思っています。（神森且視）



私の初めてのオーストラリア旅行は、やさしさとの出会いの旅でした。ホストのケビンとロレインは暖かい心の持ち主で、郊外の静かな住宅街に、木々とシダ類（ケビンの趣味）に囲まれて暮らしていました。落ち着いて緑あふれるアデレード市街、ふわふわのコアラ、小さくて元気なワラビー、どこまでも広がる青い空と海、ユーカリの木、葡萄畑、ウルルの焼け付く赤い大地、満天の星空と南十字星・・・・思い出は数限りないオーストラリアですが、何にも増して私が胸を打たれたのは、人々の思いやりに満ちた心遣いでした。感謝してもしきれない程です。本当に学ぶべき 事のたくさんある旅となりました。（菅川広弥）



楽しい思い出がいっぱいのホームステイ、素晴らしい思い出の中でホストのジョージが所有していたロールスロイスが1962年に南オーストラリア州知事が英国のエリザベス女王を乗せた車であったこと、また、動物園でミーアカットを見たこと、オーストラリアらしい豪邸でのもてなしに感激ひとしきり、思い出ぶかい滞在に心から感謝しています。（松浦精一）



平成27年度FF広島総会報告

1月24日(日)、広島国際プラザ303研修室で、2015年度FF広島定例総会及び研修会を開催致しました。2014年度度事業報告及び会計報告、並びに会計監査報告。2015年度事業計画及び予算案、役員改選の議案が承認され、本年度の活動がスタートしました。

研修会では、福山市立中・高等学校のALT:Daniel Marlowe さんに、アデレードの紹介をして頂きました。映像を通して、楽しく分かりやすく話して頂き、アデレード交換に夢がふくらみました。その後、西日本REPの森川さんから、安全に渡航をするためのお話がありました。



ラスベガス・バーミンガムクラブ交換プログラム

—10月7日(水)～10月14日(水)—

- 10月7日(水)から10月14日(水)までの1週間、ラスベガス・バーミンガム合同クラブを中心として、カナダ、カリフォルニア、ミズリー、ウィスコンシンから総勢21名のambassadorを迎えます。福山地区13名、広島地区8名に分かれて、ホームステイをし、各地区でそれぞれ交流を持ちます。
- 10月12日(月)、13日(火)の2日間は、広島のアステール・プラザに21名が宿泊し、広島で合同交流(平和公園・宮島観光、Farewell Partyなど)の予定です。
- 10月14日(水)、広島空港を **Flight NH 0678 便** で、12時45分に出発予定です。
- ホームステイのホストを引き受けて下さる方々は；

谷口・竹内・李・島崎・弓手・桑田・猪原・延廣・高田・久田・小川・森川(悦)様、12名の方々です。

ホームステイホストだけでなく、デイホストなど、色々なプログラムにご参加頂き、今回の交換が思い出深いものになるよう、皆様のご協力をよろしくお願い致します。

ED 廣森彌生 CO-ED 松本浩子

新入会員紹介



高田 俊子さん

各国に海外旅行をし、皆様にご親切にして頂きとても嬉しく、何かご恩返しができるだけでも入会致しました。英会話は出来ませんが、心でさせて頂こうと思っております。宜しくお願いします。

川崎 博さん

仕事の関係で、過去、極東地域に頻りに飛んでいましたが、欧、米には少日数しか行っていません。機会がありましたら、豪、欧、米に元気な間に行って見たいと思っています。

小川 徹さん

音楽スタジオをやっています。最近、津軽三味線と英会話とエアロビクスを始めた団塊世代です。先日、オーストリアの女性を齊藤かおりさんに紹介して頂き、数日一緒に過ごして楽しい経験をして、海外の人との交流に大変興味を持った次第です。どうぞよろしくお願い致します。

片山 奈弥津さん

現在福山在住で、小学校で非常勤講師をしています。日々子供達から元気をもらっています。趣味はスポーツ、旅行、最近始めたピアノです。まだまだ色々な事にチャレンジしていきたいと思っていますので、どうぞ宜しくお願いします。

笹田 富子さん

怠け者の私ですが、福山市役所英会話サロンがご縁で、やるなら、今でしょ、と入会を決意。宜しく。

池原 聡さん

国際ロータリークラブ財団の奨学生 OB です。国際交流に関心があり入会しました。色々な国の方と交流を深めたいと思っています。よろしくお願いします。

これからの予定

8月28日～31日：#38 FF 世界大会 カナダ、バンクーバー

9月27日、28日：FF 日本大会、岐阜

10月7日～14日：ラスベガス・バーミンガム受入

11月6、7日：西日本ブロック会議、竹田市「国民宿舎 久住高原荘」

編集後記

2015年の渡航はオーストラリアのアデレードでした。交換の楽しそうな様子を感じていただけたら幸いです。素晴らしい人たちが今年も入会して下さいました。みんなで協力して積極的に活動していきましょう。（編集委員 中垣健一・廣森彌生・松本浩子）